

# 第8号 稲作防除特報 (中生・晩生版)

令和5年7月14日  
朝 日 町  
黒東地域農業技術者協議会

## ～斑点米カメムシ類に注意し、被害防止に努めましょう～

今年も、斑点米の要因となるカメムシ類は、畦畔や雑草地に多く生息しています。収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。



アカスジカスミカメ

「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」など中生  
及び「てんこもり」など晩生の基本防除 (10a当たり散布量)

防除時期	中生	1回目 走り穂 7月29日(土)～7月31日(月)	2回目 穂揃期 8月6日(日)～8月8日(火)
	晩生	1回目 走り穂 8月1日(火)～8月3日(木)	2回目 穂揃期 8月9日(水)～8月11日(金)
粉剤体系	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドキラップ粉剤DL (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)
	4kg		4kg
液剤体系	乗用管理機等	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル (いもち病、カメムシ類)
		1000倍/100ℓ (薬量100ml/10a + 薬量100ml/10a)	1000倍/100ℓ (薬量100ml/10a)
	ドローン	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル (いもち病、カメムシ類)
		8倍/0.8ℓ (薬量100ml/10a + 薬量100ml/10a)	8倍/0.8ℓ (薬量100ml/10a)

※収穫14日前まで

※1回目及び2回目防除の間隔は、10日以上あけないでください。

※無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

### ○薬剤散布時の留意点

- ・1回目の防除は、落水し、株元に薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・水田周辺(畦畔や雑草地など)にも、薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・防除時期の範囲内では場ごとに収穫の状況に合わせて散布してください。